

## こだわりの木造建築

年齢を重ねると転倒するリスクが高くなります。転倒した時に、少しでも骨折するリスクを軽減する為、又職員の腰痛軽減の為に、床下に空間の空いている木造建築にしました。

少しでもクッションの役割を果たしてくれることを期待しています。職員とご利用者が生活する上で、造りは大変重要な要素です。全体的に、私たちによく馴染む和風建築です。

## 地域密着型特別養護老人ホームにお荘 (ユニット型)

設計、施工監理 有限会社富岡建築研究所  
施工 株式会社菅組

10月17日開所予定(入居定員20名)

ユニットケアの理念“暮らしの継続”、当施設の取り組み“看取り”が最大限生かせるように考えました。

又、家庭に近づけ、施設感を出来る限り少なくしました。



外観、居室

全室個室で、家庭で使い慣れた馴染みの家具を持ち込んで下さい。



ユニット入口



食堂、居間

トイレ(ユニット内に3か所設置しています。  
車椅子で移動される方が多く、後ろからアプローチし、移乗時の移動が最大限少なくなりように考えました。



廊下

出来るだけ狭く、家庭に近づけました。



ホール